

3つの投資カテゴリーに注目

資産運用サポート部グループマネージャーの西岡佑氏に聞く

持続可能な食料生産目指す 変革の動きを捉える

■ファンドのポイント

当ファンドは世界の人口増加と地球温暖化がもたらす農業（アグリカルチャー）や食料（フード）などの問題の解決に資すると期待されるビジネスを行う企業の株式に投資する。当ファンドでは注目する3つの投資カテゴリーがある。1つ目のカテゴリーは「農業イノベーション」、2つ目は「フードエボリューション」、3つ目は「再生力のある経済」である。

「農業イノベーション」は、農業の生産性の向上を目指す分野である。農業はほかの産業やセクターと比べるとデジタル化が遅れているが、今後の市場拡大が期待される分野である。「農業イノベーション」の代表的な企業としてFMCという米・化学メーカーがあり、農業や肥料などを生産しているが、ドローンを活用した精密農業や、AIを搭載したロボット農業機械の開発も手がけている。また今後の市場拡大が期待される、昆虫フェロモンにも取り組んでいる。昆虫フェロモンとは畑に農薬を使わずに、昆虫のメスのフェロモンを利用して、オスをかく乱させ、害虫を駆除する。これによって自然や人体への影響を抑えながら害虫を減らすことができるというものだ。同市場は、2027年に向けて年率18%の成長が予想されている。

「フードエボリューション」は、代替タンパクや健康を重視した食品の開発などの分野だ。25年から30年には、三大栄養素の一つであるタンパク質の需要を賅いきれなくなる、タンパク危機が訪れると予想されている。これに対応するものとして注目されているのが、大豆ミートなどの植物肉や培養肉で昆虫食もある。タンパク質危機の到来もあり、植物肉の市場は拡大が予想されている。「フードエボリューション」の代表的な企業

として、米国の大手穀物メーカーの1つである、アーチャー・ダニエルズ・ミッドランドが挙げられる。同社は低コストな培養肉を開発しているフューチャー・ミートという企業にも投資を行っている。同社は生活に欠かすことができない穀物の流通に携わっており、強固な収益構造を有しており、安定的なキャッシュフローにつながり、長期にわたる増配を実現していることも魅力だ。

「再生力のある経済」は、古くからあるリサイクルやリユースという考え方で、循環型経済の概念である。資源の枯渇への懸念や異常気象、持続可能な経済への取り組みを受け、産業革命以降続いている生産と消費の在り方がここ数年で変わろうとしている。食品の廃棄物や家畜の排せつ物などからバイオディーゼル燃料やたい肥を開発する研究が進んでいることが一例だろう。「再生力のある経済」の代表的な企業として米国のダーリン・イングレディエンツがある。同社はレストランなどから古い油を回収し、加工してバイオディーゼルとして販売している。23年にはバイオディーゼルの新施設の稼働が予定されており、それに伴い生産能力は年間10億リットル超に拡大する見込みだ。24年に米国全体で予想されるバイオディーゼルの生産量は約50億リットルであることから、ダーリン・イングレディエンツが米国の生産量全体の5分の1を占めることが予想され、業界において重要な存在となる事が見込まれる。

■運用プロセス

ラザード・アセットマネジメント・エルエルシー（ニューヨーク）が実質的な運用を行う。同社は機関投資家や公的年金などを主な顧客として、株式のアクティブ運用に注力している。バリュエーションを重視してポートフォリオを構



築している点も大きな特徴である。

当ファンドでは、世界の株式約1万銘柄の中からアグリカルチャー&フード関連銘柄を選び、約150~200銘柄を重点対象銘柄とする。ポートフォリオはビジネスの成長要因やバリュエーション、ESG（環境・社会・ガバナンス）スコアを考慮して構築する。銘柄選択においてボトムアップ・アプローチに加えて、独自開発のデジタルツールを活用しているのも大きな特徴だ。

■モデルポートフォリオ

4月末現在のモデルポートフォリオでは36銘柄に投資している。国・地域別構成比では米国が約6割、業種別構成比では素材が43.6%、生活必需品が27.7%、資本財・サービスが14.6%となっている。代表的な世界株指数では情報通信、金融、ヘルスケアが上位であるが当ファンドは素材、生活必需品、資本財・サービスであることは特徴である。規模別では超大型株と大型株の比率が高いが、中小型株にもしっかりと投資されたポートフォリオとなっている。

地球温暖化や人口増加、加えて地政学リスクなど人類は食料を巡り長期的な課題を抱えている。このような中、「農業イノベーション」「フードエボリューション」「再生力のある経済」といったカテゴリーで解決を目指す、農業・食料関連技術やビジネスモデルを持つ企業が注目されている。当ファンドではこうした企業に投資する事で、足元にとどまらず、将来においても魅力度の高い投資機会が獲得できると考えている。